

授業科目 小児看護学実習

【担当教員名】		対象学年	3・4	対象学科	看護
松井由美子 他		開講時期	前期（4年）・後期（3年）	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	90
【概要・一般目標：G10】 子どもとその家族の環境や個性を理解し、子どもの発達段階の特徴や健康レベルに応じた小児看護学の基礎的実践に必要な知識・技術・態度を修得する。また、子どもや家族の権利を擁護し、倫理的に配慮をした援助や小児保健医療福祉の連携について考察する。					
【行動目標：SB0】 1. 子どもの成長発達や健康レベルを理解し、個々に応じた援助的な人間関係を形成することができる。 2. 子どもの成長発達や健康維持・増進および発達障害に応じた環境について考え、安全な生活や環境について考えることができる。 3. 子どもの成長発達や健康上の看護問題を抽出し、看護ケアの一場面を看護過程を使って振り返ることができる。 4. 子どもや家族の個々の状態に応じて、権利を擁護した援助が実施できる。 5. 小児看護学における遊びや家族の重要性を理解し、援助の中で様々な工夫ができる。 6. 小児保健医療福祉の連携のあり方や看護職者の役割について考察できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	1. 保育園実習（2日間） 2. 療育実習（2日間） 3. 病棟・外来実習（4日間） 4. 学内実習（2日間） 上記1～4の内容で構成される。 演習に引き続き、実習でもポートフォリオを作成し、自己の学びを振り返る。				保育園実習 療育センター・重症心身障害者病棟実習 小児病棟・小児外来実習 オリエンテーション・中間カンファレンス 小児看護学教員全員で担当する
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	小児看護学実習ガイド	筒井真奈美監修	照林社	2,940円	
	小児保健実習	兼松百合子	同文書院	2,310円	
	発達段階から見た小児看護過程	石黒彩子他編集	医学書院	3,990円	
その他の資料					
【評価方法】 実習評価表及びポートフォリオによる（100%）		【履修上の留意点】			